



縄文科学習の成果を堂々と発表

縄文科学習合同発表会

12月22日、茅野市役所で「縄文科学習合同発表会」が行われました。市内の13小中学校で実践されている縄文科学習で学んだり、体験したりした内容について、それぞれの学校の代表が発表しました。2014年度に導入された「縄文科」は、縄文時代の生活や文化を学び、生きる力をはぐくむことを目標にし、児童・生徒による発表会は今回で3回目です。学年も学習内容も異なる発表でしたが、さまざまな角度から縄文について考え、調べ、体感し、今後の生き方につながる学習の成果を感じることができる発表会でした。

2019年の幕開け

小泉山元旦登山

1月1日、小泉山体験の森創造委員会は、毎年恒例の小泉山元旦登山を開催しました。寒さが身に染みる中、参加者は夜明け前から登山を始め、山頂でご来光を待ちました。今年は天候にも恵まれ、空には雲一つなく、富士山を眺めることもできました。午前7時20分頃、初日の出が昇ると参加者全員で拝礼と万歳をし、2019年の幕開けをみんなで迎えました。



市民生活向上に向けて地域連携の強化

「茅野市と茅野市内郵便局との地域連携に関する協定」の締結

1月9日、市内郵便局10局と地域連携に関する協定を結びました。

この協定は、「市民生活関連情報提供に関する覚書」および「災害時における茅野市及び茅野市内の郵便局の協力に関する協定」が締結から20年を経過していることから、経過を残しつつ見直しを行い、1本化したものです。

市と市内郵便局の代表者で、市民生活の向上に向けて地域連携の強化と地方創生に取り組むことを改めて確認しました。

防火・防災への決意

茅野市消防出初式

1月13日、市役所前通りと茅野市民館で茅野市消防出初式を行いました。まず市役所前通りから茅野市民館までの間を、消防団員と消防車両が分列行進しました。その後、茅野市民館中庭ではちの分団第1部(上原)による梯子乗りが披露され会場は大きくわきました。

引き続き行われた表彰式では、消防活動に功労があった17団体、305人を表彰しました。





茅野市インターネット動画サイト「ビーナネットChino」では
茅野市の生活や文化・魅力を動画配信しています。



台湾の子どもたちと異文化交流 台湾高雄市中学との姉妹校交流

1月23日、姉妹校提携を結んでいる、台湾高雄市中学と市内4中学校の交流が行われました。授業や清掃など1日の日課に参加し、言葉の壁を越えて絆を深めました。そのうち永明中学校では、書道やたこ焼き・おにぎり作りなど11種類の「おもてなし講座」を開催。生徒は身振り手振りや英語で日本の文化を伝えようと努力し、高雄市の生徒と笑顔で接していました。

また、東部中学校では旗山国民中学校との姉妹校提携の調印式が行われました。これにより茅野市と交流する高雄市の姉妹校は計5校となりました。



「震災を風化させないで」被災地の想いを込めて 茅野高等学校生徒会 石油ストーブ寄贈

1月25日、茅野高等学校生徒会から茅野市に避難所用備蓄物品として、石油ストーブ6台を寄贈していただきました。昨年の文化祭で開いたチャリティーマーケットの売上金で購入したものです。

チャリティーマーケットは東日本大震災の被災地支援を目的に2011年に開始。一昨年までは売上を岩手県の高校に届けるなどしていましたが、昨年からは地元の防災に貢献したいということで寄贈していただいています。

エコで暖かくなろう

エコであったか暖(だん)らん会

2月2日、茅野市地球温暖化対策地域協議会の主催により、市民活動センターゆいわく茅野にて「エコであったか暖(だん)らん会」を開きました。約30人が参加し、環境に配慮して暖かく暮らす方法を学びました。昨年に続き、今年で2回目のイベント。冬の過ごし方をテーマに開催されました。県からの出前講座や、体を温めるヨガの体験、毛布を利用した保温調理で作るプリンの試食会が行われ、簡単にできるエコで暖くなる工夫を楽しみながら学びました。

